



位置図

八幡配水池屋根防水更新工事

情報共有システム活用工事
月単位の週休2日工事（発注者指定）

工 事 設 計 書 （ 金 抜 ）	
工 事 番 号	令 和 7 年 度 第 119 号
工 事 名	八幡配水池屋根防水更新工事
路 線 名	
工 事 箇 所	会津若松市一箕町大字八幡地内
工 種	防水工事

工事概要	当初	
工事日数	117日	
防水工事	1式	
塗装工事	1式	

起 工 理 由	本箇所は、八幡配水池の屋根防水の経年化により、本書のとおり屋根防水を更新するものです。
仕 様	特記仕様書によること。
摘 要	<ul style="list-style-type: none">・会津若松市上下水道局元請・下請関係適正化指導要綱を遵守すること。また、工事内容の変更又は請負代金の変更があった場合、受注者である元請負人においては、変更等の経緯を踏まえた適正な対応が求められることについて留意すること。・会津若松市発注工事等からの暴力団等排除措置要綱を遵守すること。・不測の事故に適切に対応できるよう、請負業者賠償責任保険に加入していること。（契約時に加入していれば可。）その証券の写しを遅滞なく提出すること。・請負金額が500万円以上の場合はCORINS（コリズ）に登録すること。・工事用資材等の購入・調達にあっては、地産地消の推進に努めること。
当初設計年月	令和7年6月

八幡配水池屋根防水更新工事

特 記 仕 様 書

令和 7 年 6 月

会津若松市上下水道局

第 1 章 総 則

第 1 節 一般事項

1. 工事目的

本工事は、八幡配水池屋根の防水工事及び螺旋階段の塗装工事を行うものである。

2. 摘要

受注者は、監督員の指示を受け設計書、設計図、本仕様書その他関係仕様書及び関係法規に基づき誠実に工事を施工しなければならない。

3. 仕様書

水道工事標準仕様書（日本水道協会）
公共建築工事標準仕様書（建築工事編）
公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
建築・設備工事共通仕様書（福島県土木部）
機械設備工事共通仕様書（公共建築協会）
水道施設設計指針（日本水道協会）
水道維持管理指針（日本水道協会）

を参考資料とする。なお、特記仕様書と競合する部分については、特記仕様書を優先する。

4. 疑義

本工事の設計図書に関する疑義は、質疑応答を持って確かめておかなければならない。また、設計図書に記載が無いものであっても、当然認められるものについては、監督員の指示に従い、受注者の責任において施工するものとする。

5. 法令等の遵守

受注者は本工事について以下に記載する各種工事を会津若松市上下水道事業契約規程、関係法規、本仕様書、設計図書ならびに本市監督職員の指示に従い、誠実にして完全なる施工をなすものとし、下記の関係法規に準拠して工事を施工するものとする。

- | | |
|--------------------|-----------|
| (1) 日本産業規格 | (J I S) |
| (2) 日本水道協会規格 | (J W W A) |
| (3) 労働安全衛生規則 | |
| (4) 労働基準法 | |
| (5) その他関係法令、条令及び規格 | |

6. 暴力団関係者の排除

受注者は会津若松市発注工事等からの暴力団等排除措置要綱を遵守するとともに、会津若松市上

下水道局が発注する業務において、暴力団関係者からの資材の購入等同関係者への下請けの発注及び同関係者が関与する産業廃棄物処理施設の使用を禁止する。

7. 施工

本工事受注者は、本特記仕様書及び設計図書に従って施工するものであるが、これに明示していない事項であっても、工事上当然な設備は、受注者の責任において行わなければならない。

8. 作業工程： ☐有・☒無

1) 本工事は昼間施工とし、時間帯は 8 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0 までとする。

2) 作業工程における注意事項：

定められた時間帯に作業が終了できない場合は、受注者は速やかに監督員に報告すること。

3) 工事を施工しない日 有 ・ ☒無 _____ 年 _____ 月 _____ 日

工事を施工しない時間帯 有 ・ ☒無 _____ : _____ ~ _____ : _____

「工事を施工しない時間帯」は、

☐ 工期全体 ☐ 上記「工事を施工しない日」 ☐ _____ に適用する。

9. 変更の範囲

本工事の施工上必要があれば実施工事図を提出して本市の承認を得て変更することができる。ただし、これは本特記仕様書及び設計図書図面内とする。

10. 技術者の配置

この工事に対応する技術者を主任技術者として施工現場に配置できること。

現場代理人を施工現場に常駐できること。ただし、会津若松市が定める常駐義務の緩和要件等に該当する場合はこの限りではない。(配置する現場代理人は正社員であること)

11. 社内検査及び確認立会

施工中は、適宜社内検査を行ない、責任のある施工を行うこと。

設計図書に示された各工種の施工段階において、本市監督職員の立会いのもとで確認を行うものとする。

12. 提出書類

本工事について受注者は、次の工事関係図書を提出するものとし、これらに要する費用は受注者の負担とする。

受注者は、契約後速やかに本特記仕様書及び設計図面に基づいて承認図を提出し本市の承認後製作に着手するものとする。

尚、技術的打ち合わせの結果、本特記仕様書並びに設計図面を多少変更することがある。

(1) 承認図書

・施工計画書

- ・資材承認図
- ・確認立会願
- ・その他必要な書類

（２） 完成図書

- ・竣工図
- ・各種試験結果報告書
- ・その他必要な書類

（３） 工事写真

１２． 工事材料

主要材料の搬入にあたっては、搬入前に試験結果報告書を提出し、承認を得てから搬入しなければならない。

１３． 軽微な変更

本工事施工中に構造物、機械設備等の関係でおこる機器の位置、配管路等の軽微な変更は、監督職員の承認を得て変更することができる。

１４． 現場管理

工事にあたっては次の事項に注意すること。

- （１） 立入りを許可された箇所以外には、立入らないこと。
- （２） 工事箇所は、水道施設であることを十分に理解し、常に清潔な環境維持に努めること。
- （３） 工事施工に際し、既存構造物等に損傷を与えることのないようにしなければならない。

１５． 週休２日工事

- １ 本工事は、『会津若松市週休２日工事实施要領』の対象工事（発注者指定型）である。
- ２ 受注者は、実施要領に定める事項について遵守しなければならない。
※当初積算時に「月単位の４週８休以上」を確保する場合の補正を行っている。

１６． 建設工事情報共有システム（ASP）

- １ 本工事は、『会津若松市建設工事情報共有システム実施要領』の対象工事である。
- ２ 受注者は、実施要領に定める事項について遵守しなければならない。

第 2 章 細 則

第 1 節 工事内容

1. 工事範囲

- (1) 仮設足場設置及び撤去
- (2) 配水池屋根の防水工事
- (3) 螺旋階段の塗装工事

2. 合成高分子系ルーフィングシート防水

(1) 種別及び工程

合成高分子系ルーフィングシート防水工事の種別及び工程は表 1 により、種別は S-M2（機械的固定工法）とする。

表 1 合成高分子系ルーフィングシート防水工事の種別及び工程

工法	機械的固定工法
種別	S-M2
仕様	軽歩行仕様
工程 1	絶縁用シート敷設
工程 2	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート (2.0mm) の固定金具による固定

(2) 施 工

- 1) 防水工事に先立ち、既設防水層の膨れ部については既存防水層を撤去し、ポリマーセメントモルタル等で下地調整する。また、その他部位のモルタルの欠損、クラック等はポリマーセメントモルタル等で補修する。
- 2) ルーフィングシートは建築基準法に基づき、固定金具を用いて固定する。ルーフトレン回りは、ルーフトレン周囲から 300mm 程度の位置に固定金具を設けて、これにルーフィングシートを固定する。
- 3) ルーフィングシートの重ね幅は、幅方向、長手方向とも 40 mm 以上とする。接合部は熱風融着または溶剤溶着により接合し、その端部を液状シール材でシールする。ルーフィングシートが 3 枚重ねとなる部分は、熱風溶着して重ね幅の隙間をなくす。
- 4) 立ち上がり部について、端部にテープ状シール材を張り付けた後に固定金具を固定し、ルーフィングシートを固定金具に対して、溶剤溶着または熱風溶着による張り付け、末端部には不定形シール材を充填する。
- 5) 1)から 4)まで以外は、ルーフィングシートの製造所の仕様による。

3. 塗装防水

(1) 種別及び工程

塗装防水工事の種別及び工程は表 2 により、種別は X-2（密着工法）とする。

表 2 塗装防水工事の種別及び工程

種別	X-2（密着工法）	
工程	材料・工法	使用量[kg/m ²]
1	プライマー塗り	0.2
2	ウレタンゴム系高伸長形 塗膜防水材料塗り補強布張り	0.3
3	ウレタンゴム系高伸長形 塗膜防水材料塗り	2.7(1.7)
4	ウレタンゴム系高伸長形 塗膜防水材料塗り	

- 1 立上り部は工程 3 及び工程 4 のウレタンゴム系塗膜防水材料の使用量を()内とする。
- 2 ウレタンゴム系塗膜防水材料塗りの 1 工程あたりの使用量は、平場は 2.5kg/m²、立上りは 1.5kg/m²を上限とする。

(2) 施 工

- 1) プライマー塗りは、下地が十分乾燥した後に清掃を行い、ローラーばけ等を用いて当日の施工範囲をむらなく塗布する。
- 2) ルーフドレンの取り合いは、幅 100mm 以上の補強布を用いて補強塗りを行う。
- 3) 塗膜防水材料は主材料の製造所の仕様により、可使時間に見合った量及び方法で練り混ぜる。
- 4) 塗膜防水材料は、材料に見合った方法で均一に塗り付ける。なお、補強布張りは防水材料を塗りながら行う。
- 5) 塗継ぎの重ね幅は 100mm 以上とし、補強布の重ね幅は 50mm 以上とする。
- 6) 1) から 5) 以外は、主材料の製造所の仕様による。

4. 塗装改修工事

(1) 鉄鋼面下地調整

鉄鋼面の下地調整は表 3 により、種別は R B 種とする。

表 3 鉄鋼面の下地調整

種別	RB 種		
	工程	塗料その他	面の処理
1	既存塗膜の除去	—	ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化しぜい弱な部分、錆等を除去し、活膜は残す。
2	汚れ、付着物除去	—	素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により、除去する。
3	油類除去	—	既存塗膜を除去した範囲を溶剤ふき。
4	研磨紙ずり	研磨紙 P120～220	全面を平らに研磨し、研磨かす等を除去する。

(2) 錆止め塗料塗り

鉄鋼面の錆止め塗料の種別は表 4-1 とし、鉄鋼面の錆止め塗料塗りの工程は、表 4-2 により種別は B 種とする。

表 4-1 鉄鋼面の錆止め塗料の種別

種別	錆止め塗料その他	塗付け量 [kg/m ²]	標準膜厚 [μm]
	規格名称		
E 種	変性エポキシ樹脂プライマー	0.14	40

表 4-2 鉄鋼面の錆止め塗料塗り

種別	B 種	
	工程	塗り工法その他
1	下地調整	表 3 による R B 種
2	錆止め塗料塗り (下塗り 1 回目)	全面に塗り付ける。
3	錆止め塗料塗り (下塗り 2 回目)	全面に塗り付ける。

(3) 耐候性塗料塗り (DP)

鉄鋼面の耐候性塗料塗りは、表 5 による。上塗り塗料の等級は 3 級とする。

表 5 鉄鋼面の錆止め塗料塗り

工程		塗り工法その他	塗付け量[kg/m ²]
1	錆止め塗料塗り	表 4 による	—
2	研磨紙ずり	研磨紙 P 120～220	—
3	中塗り	A 種 中塗り塗料	0.14
4	上塗り	A 種 上塗り塗料	0.10

(4) 施工一般

- 1) 塗付け量は、平らな面に実際に付着させる塗料の標準量（一工程当たり）とする。ただし、塗料の標準量は、薄める前のものとする。
- 2) 中塗り及び上塗りの各層の色を変えること等により、中塗り及び上塗りが全面に均一に塗られていることを確認する。

(5) 見本

仕上げの色合は、あらかじめ監督職員に提出した見本帳又は見本塗板等による。

(6) 施工管理

- 1) 施工に先立ち、本市監督職員と十分な打合せを行ない、工事工程表及び施工計画書を提出すること。
- 2) 気温が 5℃以下、湿度が 85%以上、結露等で塗料の乾燥に不適当な場合は塗装を行わない。ただし、採暖、換気等を適切に行う場合は、この限りでない。
- 3) 外部の塗装は、降雨のおそれのある場合又は強風時は、原則として行わない。
- 4) 塗装面、その周辺、床等に汚損を与えないよう注意し、あらかじめ塗装箇所周辺に適切な養生を行う。

(7) 塗装面の確認等

塗装の仕上がり面の確認は目視とし、見本塗板等と色、つや及び仕上げの程度が同様であり、仕上り面にむら、しわ、へこみ、はじき、つぶ等がないこととする。また、電磁膜厚計その他適切な測定器具により、膜厚の確認を行う。

7. 地産地消の推進

工業用資材の購入及び調達については、規格・品質等条件を満たすものであれば地元製品の活用に努めること。下請け工事の発注についても地元業者の活用に心がけること。

8. 保存用竣工図等の提出

将来の水道施設の維持管理に資することを目的として、受注者は工事完成日から14日以内に電子媒体を下記のとおり提出すること。

(1) 提出内容

ア 竣工図

図面の種類	位置図・平面図・その他監督員が指示するもの
ファイル形式	PDF 形式
図面の大きさ	設計図と同様
留意事項	平面図の施工箇所は、赤で着色かつ太線で記載すること

イ 工事写真

写真の種類	着手前竣工写真・出来形管理写真（施工状況写真）・その他監督員が指示するもの
写真の画素数	有効画素数は小黒板の文字が判読できることを標準とする。（100万画素程度～300万画素程度＝1,200×900程度～2,000～1,500程度）
ファイル形式	PDF 形式
提出（台紙）形式	工事請負契約規程様式による
留意事項	竣工時に提出する工事写真と同様のもの（写真の種類に記載のないものは除く）

(2) 提出方法

電子媒体（CD-R 又は DVD-R）に記録し、ウイルスチェック後に提出すること。

(3) その他

作成方法および詳細については監督員と打合せを行うこと。

9. その他

(1) 請負業者賠償責任保険

不測の事故に適切に対応できるよう、請負業者賠償責任保険に加入していること。（契約時に加入していれば可。）その証券の写しを遅滞なく提出すること。

(2) 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付されなければならない。

受注者は法定外の労災保険契約を締結したことを証明する書類（証券等）を提出しなければならない。

工事名称 八幡配水池屋根防水更新工事

工事場所 会津若松市一箕町大字八幡地内

【工事概要】
防水工事 1式
塗装工事 1式

- 【総括情報表】
- (1) 適用単価地区 L（会津若松 1）地区
 - (2) 単価適用日 令和7年6月15日
 - (3) 前払率 40%
 - (4) 契約保証補正 金銭的補償
 - (5) 共通仮設費区分 率併用方式
 - (6) 建設共通仮設費区分 率併用方式
 - (7) 管理事務所設置 無し
 - (8) 主たる工事区分 建築工事
 - (9) 労務費の比率 普通
 - (10) 週休二日補正 月単位の4週8休以上
 - (11) 工期[か月] 3.8

名	称	数	量	単位	金	額	備	考
直接工事費							CM	コメント
建築工事		1		式			CK	直接工事費
計							CKK	直接工事費計
共通費							CM	コメント
共通仮設費		1		式			KK	共通仮設費
現場管理費		1		式			KG	現場管理費
一般管理費等		1		式			KI	一般管理費等
計							KS	共通費計
							CM	コメント
工事価格		1		式			KKK	工事価格
消費税等相当額		1		式				消費税率 10 %
工事費		1		式			KH	工事費

[illegible]

[illegible]

会津若松市上下水道局

会津若松市上下水道局

会津若松市上下水道局

会津若松市上下水道局

会津若松市上下水道局

会津若松市上下水道局